

概況(図1, 表1)

6月2~4日に房総丸(110ト)で沿岸定線観測を行った。黒潮は石廊崎沖 32°50'Nまで南下した後、北北東へ流れた。房総沖では北東へ流れ、離岸距離は「やや接岸」~「平年並」であった。流型はB型であった。

水温(表2, 図2・3・5)

海面では18~23, 100m深では12~20, 200m深では12~18であった。外房海域では「平年並」~「やや高め」であった。銚子・九十九里海域では「平年並」であった。銚子・九十九里海域は、先月の観測では「低め」~「やや低め」であったので、低温状態は解消された。海面における平年偏差は、概ね正の偏差であったが、太東岬周辺の沿岸域では-1.0以下の負偏差がみられた。

塩分(図4・5)

海面では34.5~34.9, 100m深では34.5~34.9, 200m深では34.5~34.8であった。野島崎南東定線では、水深300~700m, 太東岬南東定線では、水深400~700mに34.3以下の塩分極小層があった。

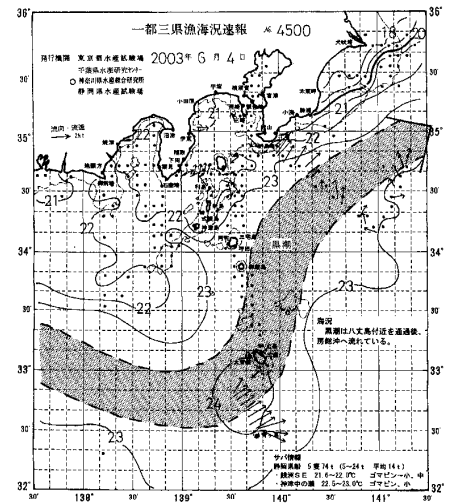


図1 一都三県漁海況速報

表1 房総沖の黒潮離岸距離(2003年6月)

| 基点  | 方向 | 距離(マイル) | 階級   |
|-----|----|---------|------|
| 野島崎 | 南東 | 30      | やや接岸 |
| 太東岬 | 南東 | 40      | -    |
| 犬吠崎 | 南東 | (40)    | 平年並  |

\*(数字)は海洋速報(海上保安庁海洋情報部)より

表2 水温の評価(2003年6月)

| 水深(m) | 外房海域  |      |      | 銚子・九十九里海域 |      |     |
|-------|-------|------|------|-----------|------|-----|
|       | 水温    | 平年偏差 | 評価   | 水温        | 平年偏差 | 評価  |
| 0     | 22.0  | 0.6  | 平年並  | 20.4      | 0.3  | 平年並 |
| 50    | 18.11 | 0.12 | 平年並  | 19.01     | 1.42 | 平年並 |
| 100   | 17.61 | 1.30 | 平年並  | 15.56     | 0.38 | 平年並 |
| 200   | 15.83 | 2.68 | やや高め | 12.95     | 0.20 | 平年並 |

\*水温は各海域の評価点の平均値

流況(図1・2)

2ノット以上の流れは、20~40マイル沖で観測された。流向は概ね北東方向であった。

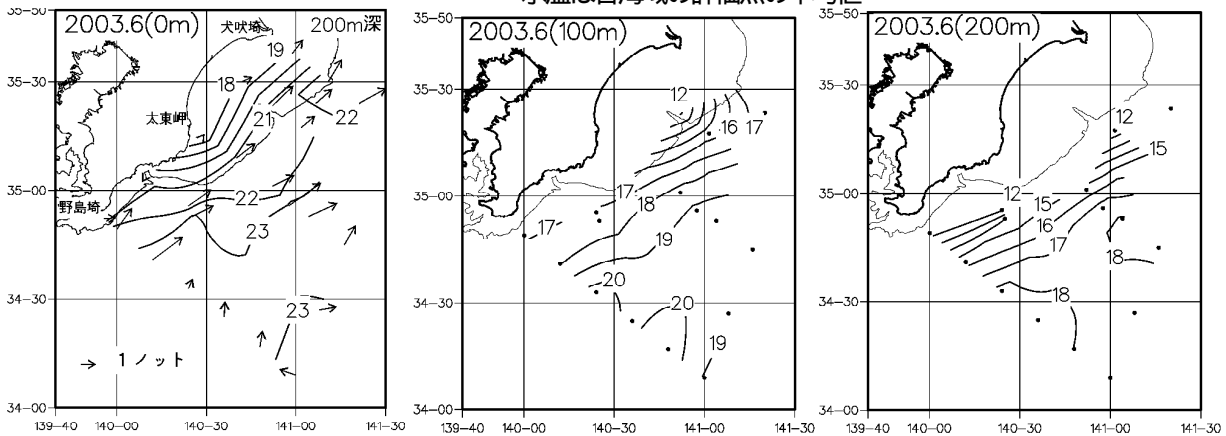


図2 水温と流向流速(5m深)の水平分布

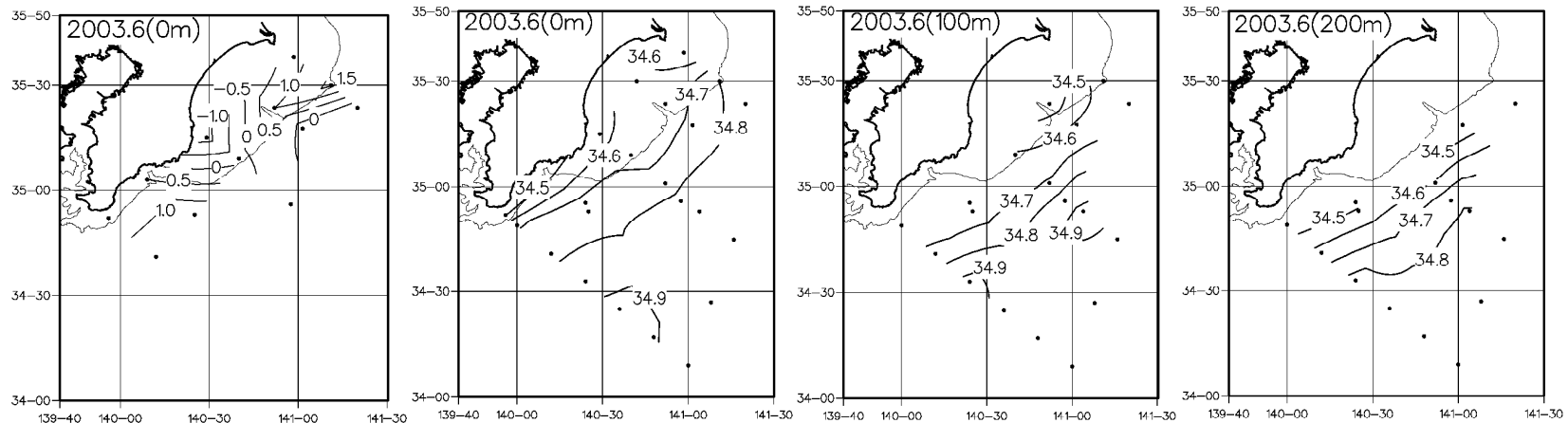


図3 水温の平年偏差

図4 塩分の水平分布

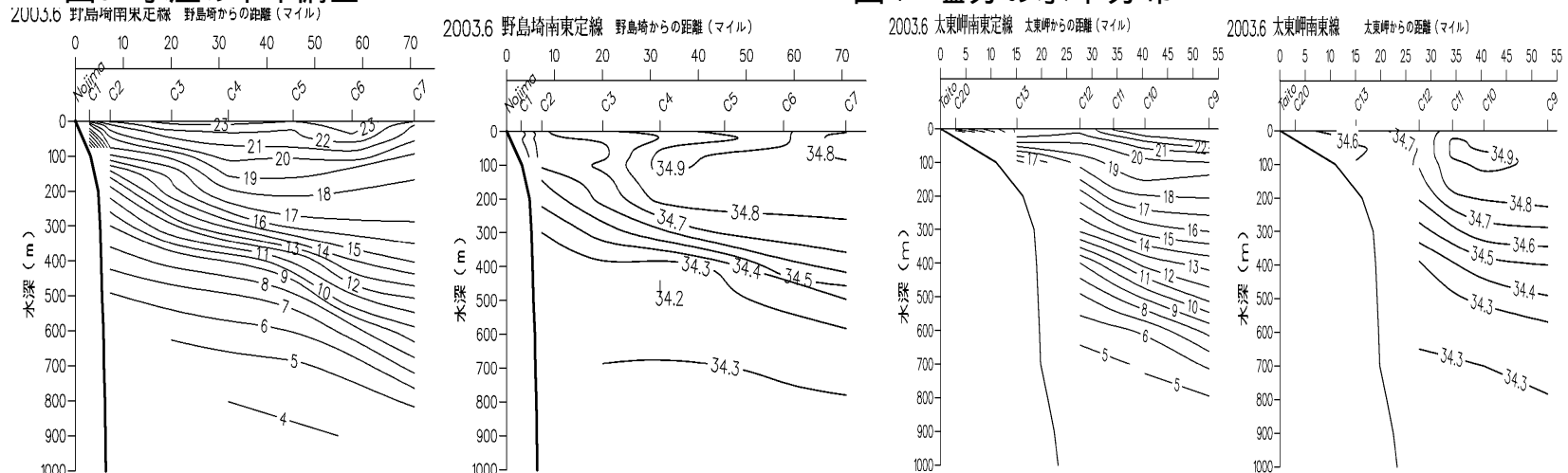


図5 水温と塩分の鉛直分布